

このたび新長崎学研究センターにおきましては、新長崎学研究成果を公表する機関誌『新長崎学研究センター紀要』を創刊することとなりました。

新長崎学研究センターは、学校法人長崎学院創立70周年記念を期して、2016（平成28）年4月に創設されました。本センターの目的は、「(1) 建学の精神に基づき、グローバル人財及び地域創生に活躍可能な人財を育成するために、未来指向の長崎学研究を通じ、本学の特徴を活かした学術研究を推進すること。(2) 研究の成果を本学の教育研究に還元し、経営に資するべく活用すること。」です。



本センターは、これまで長崎および国内外で培われてきた浩瀚な「長崎学」の成果に立脚し、未来志向の「新長崎学」として、本学の特徴ある学術研究のブランドを掘り起こし、本学の教育研究および経営に貢献することをミッションとしています。そのための研究分野は、建学の精神を礎としたプロテスタントキリスト教教育、外国語および日本語の言語教育、長崎発の平和教育、国際教養学（旧長崎学の発展と連携）、国際協力学（SDGsの視点から）です。

このようなミッションおよび研究領域に沿って、本センターは毎年3回の研究集会を続け、研究調査、貴重史資料の収集・整理、『新長崎学研究叢書』の刊行、年報の発行を実施してまいりました。さいわい当センターのこの6年間の活動は、7年に1回行われる公益財団法人日本高等教育評価機構（JIHEE）の2021年の認証評価におきましても、本学の「新たな大学の進化に向けた取組み」として「優れた点」と評価されました。

この間、本センターの活動にご協力いただきました、研究員である本学教職員の皆様、客員研究員の皆様、資金的な援助をいただいた企業の皆様に厚くお礼申し上げます。

センターは活動6年目を期し、この間の研究成果の一部を取りまとめ、また新たな研究成果を公表する場として、機関誌創刊号をお届けすることができるようになりました。

これを機会に、センターの活動と本機関誌の充実を図っていく所存ですが、今後とも、皆様の引き続きのご支援ご協力と、積極的な投稿を賜りますようお願い申し上げます。

2022（令和4）年3月31日

長崎外国語大学 学長
新長崎学研究センター長
姫野 順一